

各位

上場会社名 株式会社 大木
 代表者 代表取締役会長兼社長 松井 秀夫
 (コード番号 8120)
 問合せ先責任者 業務本部長 宮本 正博
 (TEL 03-3947-2232)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成25年7月31日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成26年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	86,297	223	530	325	27.07
今回修正予想(B)	93,713	312	641	498	41.93
増減額(B-A)	7,416	89	111	173	
増減率(%)	8.6	39.9	20.9	53.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	83,784	69	357	136	11.40

平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,197	510	300	24.99
今回修正予想(B)	92,643	643	576	48.51
増減額(B-A)	7,446	133	276	
増減率(%)	8.7	26.1	92.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成25年3月期第2四半期)	82,716	422	164	13.74

修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきまして、当社グループは、高齢化の進展とともに美と健康に関するニーズを対象に、スキンケア群、健康維持摂取品群という大カテゴリーに継続して力を入れて頑張っており、加えて、昨年7月より、快適生活用品事業部を新たに立ち上げ、主として、単身・高齢世帯をターゲットとした品揃えの充実も進めて参りました。
 また、広域化する有カドラッグストアとの取引関係を引き続き強化し、同時に、異業態との取引の開拓・深化にも積極的に取り組み、更に、かねてより力を入れて参りましたプライベートブランド商品及びMD(マーチャンダイズ)商品の開発と供給、ならびに非価格競争のできる商流力アップに努めましたことにより、売上の増加を実現する事が出来ました。
 営業利益、経常利益、当期純利益につきましても、増収効果に加え、MD商品への取組み等による粗利率の改善や、物流関係を中心とする生産性の向上及び経費削減に継続して注力いたしました結果、増益となりました。

以上